

受入先	南九州市観光協会
役職	
隊員氏名	青木健太朗
着任日	令和3年1月1日

活動月	令和3年10月（着任1年10ヶ月目）
主な活動	観光協会での情報発信

## 1. 人吉にて災害復興・観光振興の研修へ参加しました

一般社団法人工業・イノベーション・アライアンスの木下氏が主催、(株)天草クルーズの瀬崎氏と共に研修（豪雨災害の壊滅的被害から観光客の低迷が続いている「球磨川くだり」）が目の前を流れる川の決壊により被害を受け再建を考えるタイミングで事業自体のリプランディングを行った経緯・困難だった点など、現地視察を交えながらお話を頂きました。長年続いている事業には様々な利権が関わり合い、外部から人材を招き入れたところで地元の「有力者」に翻弄される事例が全国では散見されますが、一定ラインを越えた事業に関してはスクラップアンドビルトがドラストイックではあるものの効果を生む、という自身の仮説が裏付けられた印象をもちました。

2022年以降の観光を考える上で、まずは九州管内から地域の誘引力がある事例を参考にしながら、南九州市で行える施策に関して考えていくたい



と思います。



左下画像は西日本新聞より引用

(<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/686877/>)

リニューアル・リブランディング前の  
「球磨川くだり 発船場」のようす

## 2. 地紅茶サミットのチケットデザインを担当しました



2022年開催の地紅茶サミットにおいて、事前購入者に向けた紅茶のみくらべチケットのデザインを担当しました。

もともとはA4の用紙に必要事項が記入されたのみのバウチャーのようなものでしたが、お客様からお金を頂く・またイベントに対してワクワクを感じて頂けるものにということで紙チケットの作成に至りました。

印刷も外部業者へ委託することで、ミシン目を入れた仕上がりに出来るなどこれまでの制作物に関する知見を活かすことが出来たと感じています。

デザイン制作の決定から入稿まで1週間しか無い中での制作で難しい点もありましたが、自身の制作物が多くの方の手に届く嬉しさを感じています。

10月30日付けの南日本新聞にも掲載されました。(右記画像)